

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院感染症科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては、患者さんの新たな負担（費用や検査など）は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

< 研究課題名 >

化膿性脊椎感染症の臨床的特徴に関する観察研究

< 研究の背景と目的 >

化膿性脊椎感染症は脊椎や脊椎周囲筋肉のぜい弱性、免疫状態、悪性腫瘍の合併、手術などが要因となり発生し、人口の高齢化に伴い増加傾向にあります。本疾患群は脊椎の不安定性を伴うことが多く、また疼痛のため日常生活動作の低下を引き起こしやすい。加えて、抗菌薬が移行しにくい部位であり、また外科的治療も合併症のリスクが高い。しかしながら、適正な抗菌薬選択や抗菌薬治療期間、外科的ドレナージの適応について、いまだ不明な点が多いのが現状であり、当院における化膿性脊椎感染症の患者さんの特徴や治療法、その有効性を検討します。

< 研究の方法 >

● 対象となる方

2009年1月1日から2019年12月31日までの間に血液培養かまたは感染骨・椎間板・膿瘍から微生物が検出された方で、化膿性脊椎炎と診断された方

● 研究期間

倫理審査承認後から2021年12月31日まで

● 利用するカルテ情報

年齢、性別、診療科、基礎疾患、菌血症発症時白血球数、CRP値、血液培養の結果、その他の培養の結果、感染臓器、治療抗菌薬、外科治療、予後に関する情報を予定し

ています。

- 情報の管理

情報は個人が特定できないように匿名化し、本研究に関わる研究者以外がアクセスできないように管理・保管します。

< 研究組織 >

- 研究代表者

東京医科大学病院感染症科 中村 造

- 分担研究者

東京医科大学病院感染症科 渡邊 秀裕

東京医科大学病院感染症科 小林 勇仁

東京医科大学病院感染症科 藤田 晃裕

東京医科大学病院感染症科 渡邊 裕介

< 個人情報の取扱い >

この研究では既存の情報を使います。その際には、対象者の氏名は調査項目には含まれません。また対象者の個人情報とは無関係の記号を付けて、個人が特定できないようにします。また、研究で分かった成果は国内や国外の学会で発表したり、論文にする予定です。

< 問い合わせ先 >

東京医科大学病院 感染症科 中村 造（准教授）

電話番号 03 - 3342 - 6111（代表） （内線） 2525